



The service club to the YMCA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
Tel (0797)35-5987

THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年9月会報 第336号

- 主 題 ・ 標 語
- 国際会長(IP) JOAN WILSON (カナダ)
主 題: “ Our Future Begins Today ”
「私達の未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao
主 題: “ Respect Y's Movement ”
「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)
主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
“ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”
- 副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」
Doubling membership through having substantial Meetings and active service!
- 六甲部部长 長井 慎吾(西宮)
主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で
更なるクラブ活性化を図ろう」
- 宝塚クラブ会長 若林 成幸
主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ: Menettes
だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、
あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と預言者で
ある。(マタイ7章12節)

2016年9月例会

日 時 : 2016年9月14日(火)18:30
場 所 : 宝塚ホテル ゴールド
会 費 : 会員3,100円、会員外3,500円
ドライバー 多胡葉子 武田寿子
開会点鐘 若林 成幸会長
ワイズソング 全 員
ゲスト・ビジター紹介 会 長
聖書朗読 鯖尻佳子
祈 禱 長尾 亘
晩 餐 一 同
お話し

公益財団法人近江兄弟社ヴォーリス記念館
囑託研究員 芹野 与幸氏
「YMCA 活動家としてのヴォーリス」
～ 世界宣教を担ったYMCA ～

インフォメーション
YMCAニュース
誕生日記念日

閉会点鐘 若林成幸会長

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	Y M C Aサービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子 ・ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう!	石田由美子(1日) 谷川 尚(22日) 福田 宏子(29日) 加藤富美子(23日)
8 月 実 績	例会出席者数 29名 在籍会員数 19名(名誉会員1) 出席会員数 14名 出席率 77.78% メイクアップ(内数) 2名 メネット 3名 コメント2名、ゲスト・ビジター12名
	B Fポイント 8月 0円 累 計 4,300円 にこにこBOX 8月 0円 累 計 3,000円 ファンド(物品販売) 18,415円 累 計 18,415円

8月第1例会報告

土佐堀合同納涼例会報告

8月16日、8時30分、宝塚ホテルシルバーの間に於いて大阪土佐堀クラブとの合同納涼例会が開かれました。

当日、大阪土佐堀クラブからメネット、コメットを含めて18名、宝塚クラブからメネットを含めて15人、



そのほか多くのゲストが参加され、関学フラサークル「マハロ」の11名を含めると計 58 名が一堂に会しました。若林会長の提唱された50名参加の例会の第1回が成立しました。

第1部は大阪土佐堀クラブの只野未来メンの司式で進められ、土佐堀クラブ丹吾礼会長の開会宣言・点鐘、ついでワイズソングの斉唱では大阪土佐堀クラブ岩原大悟コメットのピアノ伴奏が添えられました。聖書朗読、祈祷を担当された土佐堀クラブの秋田正人メンは熊本で支援の作業をされてこられました。大阪YMCAから東京YMCAに帰られ、あらためて支援の活動を続けられるとのことでした。中西部西野陽一部長、六甲部長井慎吾部長からも力強いメッセージをいただきました。

堀江 裕一



第二部は、宝塚クラブ長尾亘氏の司会で始まりました。乾杯は、ちょっと話の長い加藤先生。晚餐は豪華な宝塚ホテルのバイキング、皆大いに食し、飲み、久しい友人、知人とおしゃべりして楽しい会食の一時です。アトラクションは、恒例のフラダンス、関学フラサークル「マハロ」女子大生の明るい魅力に皆、大喝采。岡野日和コメットのドレス姿のピアノ演奏。そしてついにオークション大会。少し？を召された土佐堀クラブの岡野氏の愉快的な司会に大笑い。オークションの商品にマハロの女子大生の握手と笑顔の写真付きにはまいました。インフォメーションは鶴見緑地で行われる楽しみ抽選券 ets YMCA ニュースにお誕生日お祝い、YMCA の歌を歌い。宝塚クラブの若林成幸会長の閉会点鐘でまた来年の納涼大会を約して今年の夏祭りは楽しく幕を閉じました。

水谷 恭子



○オークション売上総額	33,830円を分配
マハロ	10,000円
大阪土佐堀クラブ	11,915円
宝塚クラブ	11,915円

8月第2例会報告

出席者 若林、吉田、堀江、石田、鯖尻、加藤、長尾、多胡、谷川、武田、計10名
場 所 宝塚市立西公民館3階

1. 8月16日合同例会の確認

出席者数宝塚クラブ26名(マハロ10名を含む)予定(8月10日現在)桑田、井上、エミさんから返事なし受付は2クラブです、会費、5000円、ただし小中学生は1000円六甲部長及び3役が出席の場合は招待、マハロの会費は2クラブで折半、オークションの収益は2クラブで折半、豚肉は宝塚クラブのファンドとする。プログラム作成は宝塚クラブ、席はくじ引きで、両クラブが混合になるように工夫する。受付、吉田、堀江、ドライバーは長尾、乾杯は加藤、ドレスコードはアロハや浴衣など、カジュアルなものにする。

2. 9月以降の例会運営について会長から提案があり協議し了承された。

9月14日 芹野与幸氏

(公益財団法人近江兄弟社ヴォーリズ記念館)

仮演題「ヴォーリズが残したもの」

10月12日 阪田晃一氏(西宮YMCA)

仮演題「障害者福祉の新たな取り組み」演題についてはもう少しわかりやすいものに、谷川担当で阪田氏に尋ねる。

11月9日 大類隼人氏

仮演題「国際保健の世界」

9, 10, 11月のPRチラシはまとめて作成を多胡が行い早めに配布できるようにする。より多くの参加者を集めるため。

12月14日 未定 近隣クラブとの合同例会にしたいが、現在候補先はないがさんだクラブに交渉する。ミニコンサート? 礼拝奨励者は芦屋浜教会の塚本淳也牧師に交渉予定

1月以降 ゲストスピーカー候補を協議した。

福祉…福祉ロボット、福祉起業家、
音楽…KC音楽部元教授 中村健氏
教育…関学小学校 校長 田近氏、
元校長 福田氏

山口宰、オリンピック常務理事、国際大学教授に高齢者についての講演を2月、3月に依してはどうか、打診は武田が行う。

3. 各事業委員会からの提案・報告

- 1) キャロルをうたう夕べ(計画表別紙あり)2016年12月22日19-21時ベガホール、第1部にクリスマスページェントを、関学神学部生に依頼中、無理なら、小林聖心中学校にも聞いてみる。フラは神戸の復興支援ソングをしようかとの提案が若林会長よりあった。谷川担当主事からはキャロルをうたう夕べのチラシを神戸YMCAにも確実に配布してほしいとの依頼があり了承された。
- 2) ジャガイモ販売の搬入日は10月15日または22日にしたい、援助してくれるリーダーたちの予定に合わせたい。(谷川) また、例年通り10Kを販売する。
- 3) 11月3日神戸YMCAチャリティーランの協力について、担当の多胡から報告があった。商品集めに協力を依頼され、マリアンジュ、夢吉、ベーネ、加茂などに依頼予定。クラブから協力金は5万円、個人にも3000円の依頼がある。また宝塚クラブは例年通り、屋台を出すことが決定しているので会員への協力依頼があった。
- 4) 揚がれ希望の凧プログラムについては当初5年を期限としていたので、多胡より今年休止をしようかという提案があり了承された。
- 5) 障がい者の絵画展「きらりと輝くアート展」について多胡から以下の提案があり協議し計画を進めることになった。その計画は、11月19日、場所須磨教会で、神戸ポートクラブ主催の難病支援プログラム山本育海さんの講演と草笛コーラス、リンドンリングアスの音楽会が開催される。その折に臨床美術の講師の指導のもと障がい者の方々による作品の制作とその作品を展示するという案。
- 6) デンマークからのSTEPの学生1名を預かる件については石田から説明があった。森田美都子国際・交流事業主任によれば、前半は九州に、後半はYMCA同盟の大会が東山荘で開催されるので、そこ

に参加させる計画が進んでいる。ホームステイは3日ほどなので、岡野泰和さんに依頼を検討中。

7) 台北で8月3-7日開催された国際大会についての報告があり、参加者880名ユース100名、西日本区から91名の参加者があり、来年度西日本区大会実行委員長として大会運営について多くの学びがあったと石田からの報告があった。

4、ブリテン編集

8月24日締め切り、なるべく早く原稿を送ってほしいと長尾からの依頼があった。英文のニューズレターについては、7月キックオフ例会の会長方針を中心に武田と石田で作成する

5、その他

今後の部会予定と参加者の要請が行われ、参加者は石田まで至急連絡するようにと依頼があった。部会内容についてはすでに会員にメールで周知している。

8/28 中部部会 参加予定:石田

9/3 中西部部会 鯖尻

9/4 阪和部

9/11京都部会 長尾 石田

10/8 琵琶湖部会

最後に8月16日集合時間5時、宝塚ホテルと
いうことを確認し、終了した

書記・武田 寿子

会長より一言

空の青さに秋を感じる頃となりました。

9~11月例会のチラシを多胡メン・重松メンのご尽力により作成していただきました。ありがとうございました。

9月例会は、芹野与幸氏から「YMCA活動家としてのヴォーリズの生き様」を、10月は神戸YMCA職員の阪田晃一氏から「障がいのある子どもと過ごす新たなキャンプの可能性」を、11月は大類隼人氏が

ら「海外で展開されている医療活動の新たな展開」を予定しています。スピーカーはそれぞれに強い信念を持って現場に臨み、この時代にあって世の中に希望の火を灯すように、新たな可能性を求めてご苦労を重ねておられる方々です。彼らのスピーチから老若男女が協働して時代を切り開く術を学びたいと思います。

世間には、長く務めた会社生活を終え、第2の人生を地域活動・奉仕活動に捧げたいと考える方が沢山



おられます。バザー・市民クリスマスなどで培った地域貢献活動のPR手法を「50人例会を年4回開催」の実現のために活用していきたいと思います。PRの手法としては、いわゆる「ロコミ」が最も手近で効果的では

あり、チラシの効果はせいぜい3日間といわれるほど無力ですし、回数を重ねるとなると能力的に制約があります。しかし、我々は、バザー・クリスマス以外にも毎月このような例会活動をやっているということを継続的に発信し、地域での知名度を地道に獲得して参りたいと思います。

今回は次のように配布先を設定し、協力をお願いして参ります。

1. 宝塚ワイズ会員各10枚(200枚)
 2. 今津線・宝塚線沿線の10教会、神戸・西宮YMCA, 宝塚市内の公民館・図書館、国際交流協会、関学同窓会宝塚支部・同西宮支部、武庫川がっこう、宝塚市文化財団、宝塚ホテル・ワシントンホテル(各20×25=500枚)
 3. これまでの例会ゲスト(50枚)
 4. ライオンズクラブ、武庫川クラブなどの例会でPR(50枚)
 5. 近隣クラブ例会・部会PR、予備(200枚)
- 宝塚ワイズの年間活動計画では、9~11月と2~4月の例会にゲストスピーカーを招聘する機会があり、来年2~4月のスピーカーの人選が第2例会の課題です。ご理解とご協力をお願い致します。

会長・若林 成幸

六甲部長あれこれ

8月16日に宝塚クラブの例会に参加しました。数年後に移転のため閉館する宝塚ホテルなので、その重厚さがひと際感じられました。宝塚クラブは今年度、50人例会を4回開催することを目標とされており、今回はその一つ目として、大阪土佐堀クラブとの合同例会で

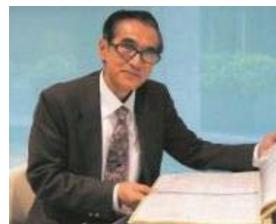


した。DBCを締結していないのですが、長尾ワイズが土佐堀クラブから移籍されたことや、石田ワイズが時折フラダンスで例会訪問されているなど、これまで良き交流のパイプがあったようです。双方の会長が会を進行されました。中西部部長の西野ワイズ（大阪高槻クラブ）も出席され、会の中で、中西部部長と共に六甲部部長の挨拶をさせて頂きました。出席者全員の丁寧な紹介や、関学のフラダンスサークルの演技、多くの品でのオークションなど楽しいプログラムが続きました。宝塚クラブの例会は、ゲストが多いこと、女性が多いことから大変華やかな点が特徴であると思いました。ゲストが多いことは、魅力あるスピーカーを選び、こまめに案内を送るなど地道な努力を継続されている結果のようです。例会の充実、メンバー増強を目指す模範的な会合を実践されていると感心しました。年間に訪れるゲストの総数はいかほどとなるのでしょうか。当然、その中から新会員が生まれてくるのであろうと安心して会を後にしました。8クラブのEMC委員が見学に参加するのが良いのではないかと思います。ついた次第です。

六甲部部長 長井慎吾（西宮クラブ）

例会ゲスト・プロフィール

1951年東京生まれ 1974年桜美林大学卒。基督教視聴覚センター、霊南坂教会改築事務局を経て1989年よりヴォーリズ建築事務所。現在史料・広報室長。公益財団法人近江兄弟社ヴォーリズ記念館嘱託研究員。研究の傍らNHK文化センターなどのカルチャー講座等各地での講演活動を通じてヴォーリズの歴史を語っている。



第72回ワイズメンズクラブ 国際大会参加報告

2016年8月4日～7日の4日間、台北で開催された第72回国際大会に参加しました。今回のテーマは「Living in harmony」。天、地、人が共存の世の中で



会場は小高い丘に華々しくどしりと建っている台北のシンボル、圓山大飯店と、シャトルバスで5分ほど離れたEXPOドームホールの2か所でした。ロースターによれば、西日本区から94名、東日本区から89名、全体で880名の参加となっています。

オープニングセレモニーは24カ国の国旗が入場しワイズメンズクラブは国際的な組織だと再確認した時間でした。続いて会長就任式が執り行われカナダ・オタワクラブのJoan Wilsonワイズが国際会



長のピンを直前会長、Wichian Boonmapajorn から受け、次期国際会長にノルウェイの Henry Gringheim ワイズも紹介され厳粛な時間を共有しました。

夜は直前会長主催の晩餐会。通常 10 人掛けのテーブルに 12 人と言う満員電車並みの窮屈さでしたがお料理は美味しく文句は半分くらいに減少です。

2 日目に西村隆夫総書記のレポートがあり、ワイズメンズクラブの現状などを知りました。現在 69 カ国、クラブ数は 1521、会員数は約 3 万人との事。又、今月半ばに物価の高いジュネーブからタイ・チェンマイにサテライトオフィスを置き、西村夫妻はそこへ赴任です。数名のスタッフはジュネーブに残り各地区のサポートを続けて行くと言う事です。

午後から九份に行くメンバーに誘われ 10 年ぶりに今や大人気の観光地になった炭鉱跡の町に行きました。ひと夏分の汗が流れ落ちる位の暑さにもかかわらずワイズメンはみんな元気！

最終日である日曜日は音楽礼拝で始まりました。台北 YMCA オラトリオクワイアーのメンバー数十名が歌う讚美歌と、最後にオーケストラが加わってベートーベン「第9」の素晴らしい演奏は今までに無い形の礼拝で印象的でした。

そして西日本区にとって誇るべき嬉しいサプライズが残されていたのです！

年度中に傑出した働きをした部長に贈られる国際からの賞、「エルマークロウ賞」を昨年度中部部長であった名古屋グランパスクラブの荒川恭次ワイズに贈られました。時間的な理由で大会中の授賞式はありませんでしたが、西日本区からの参加者全員が拍手と「おめでとう」の言葉でお祝いをしました。

8 月 28 日に開かれる中部部会に於いて急遽、授賞式とお祝いがあるようです。

多くの出会いがあり、再会があり、ワイズの楽しさ一杯感じた 4 日間でした。再見！

石田 由美子

中部部会参加報告

2016 年 8 月 28 日(日)、12:30 から名古屋駅前、名鉄ニューグランドホテルで第 20 回中部部会が開

催されました。早く到着したため先にスタートしていたメ

ネットアワーに入れて頂き大変興味ある講演を聞くことが出来ました。今年のメネット事業は学校に行かない選択をした中高生のためのフリースクール「箱崎自由学舎 ESPERANZA」の支援で、代表の小田哲也氏(福岡中央クラブメンバー)

は中高生たちが様々な経験を通して成長して行く姿を熱く、力強く話されました。六甲部でもぜひ来て頂く機会を作って多くのメン、メネットに知って欲しいです。

第 1 部式典には有名な河村たかし名古屋市長が

登場して名古屋市政の「どえりやあ」アピールです。市長到着が大幅に遅れたためプログラムの順番が大幅に変わると言うハプニングもありまし

た。

その 1 つが荒川恭次直前部長のエルマー・クロウ賞受賞式。第 3 部から繰り上がりました。

先日の台北国際大会で受賞が発表され、この日遠藤通寛直前理事から盾を受け取り正式な表彰式と



なりました。

第2部は「国際協力の意義」と題した五月女光弘氏(外務省参与・NGO 担当大使)の基調講演がありました。私は第3部アトラクションの打ち合わせがあったため聞けず残念でした。

第3部は懇親会。名古屋クラブメン2人と音楽仲間のみなさんによるハワイアン演奏で盛り上がりました。早い時点で川口恵部長からのご依頼でフラを踊って欲しいとの事でしたので会場と一緒に楽しい1曲を踊りました。

名古屋は2012-13年、亡き成瀬晃三理事時代、交流事業主任としてチーム成瀬の一員でしたので感慨深いものがあります。当時のキャビネットや役員との絆は今も続き、私は「中部宝塚クラブ、石田由美子」で交流を大いに楽しんだ1日でした。

石田由美子

大阪泉北クラブ
納涼例会訪問

8月25日(木)午後6時半から天満橋キャッスルホテルで開催された泉北クラブ納涼例会に行ってきました。まず山田理学会長による開会点鐘、一同でワイズソングを歌い、聖句朗読。ゲストビジター紹介がされました。

第一部は前年度1年間と西日本区大会の報告が遠藤通寛直前理事よりなされました。



第二部はリーダー報告会。今夏のキャンプ報告、また熊本地震支援活動の報告。第三部では懇親会。ウクレレ演奏、マジック、アホウドリとアトラクションは盛りだくさんです。リーダー達もマジック

クやアホウドリにも共に加わって楽しいひとときを過ごしました。

アホウドリの口ばしの作り方、動きまで説明がありここまでのご苦勞があったのかと感動しました。食事は美味しい中華料理・錦城閣で頂きました。同じテーブルには大阪サウスクラブの方々、大阪泉北クラブの方々とお話が出来、楽しい交流が出来たように思いました。

諸報告、YMCA報告また山田会長のお話もあり結婚・誕生祝いで楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。最後にYMCAの歌を高らかに歌い閉会点鐘で終了です。

名残を惜しんで大阪サウスクラブの方々との近くの喫茶店でお茶をして帰路に着きました。

鯖尻 佳子

ポップン・リンガーズ
バーベキューパーティー

ポップンキッズ(ハンディキャップを持つ人たちのミュージックベルの演奏グループ)とは平成21年に知り、演奏する機会がない事を聞いて宝塚クラブが毎年12月に実施しています「クリスマスキャロルの夕べ」に出演の声をかけました。それが4月で準備に不安が有りましたが、「皆の努力が有ればどの様な演奏でも良い」と初めてのステージが持たれました。とは言っても全てが初めてで心配で何度か練習を見に行き励ましてきました。しかし、それは想像もしない演奏で技術よりも一生懸命演奏する姿に客席の感動がステージまで伝わってきました。初めて見て聞いた客席の人たちは素晴らしい体験をされた事と思います。それから今年は8年目、レギュラーとなり、



年々演奏も上手くなり、進化してきました。又キッズの年齢を卒業して大人になり名前も「ポップン・リンガーズ」と名前を変えました。名付け親は我がクラブの吉田 明ワイズです。そして今年も9月からクリスマスキャロルの練習に入る前の恒例のバーベキューパーティーに呼ばれて行ってきました。楽しい時間が持てた事を報告します。今年は何を披露してくれるのか楽しみです。

長尾 亘

【今月のみ言葉】

一般に「黄金律」と呼ばれるこの言葉は、聖書に限らず、古くより世界各地で見られる格言ですが、「他人にして欲しいことは他人にもしなさい」という肯定形と、「他人にして欲しくないことは他人にもするな」という否定形の二つのパターンが存在します。イエスが語った肯定形の方が積極的な愛の行為を求めているという意味で、「～するな」という否定形のものよりも、より高尚な教えを説いているというように理解されることもあります。両者の優劣は単純に決められるものではないようです。ただ、「他人に迷惑をかけるな」という戒めが伝統的に強調されてきた日本の社会においては、否定形の方が何となく馴染みがあるかもしれません。

しかしながら、よくよく考えてみると、このようにどこにでもあるようなありふれた掟であるにも拘わらず、実践するのはとてつもなく難しいことに気づかされます。マタイ福音書においては、この掟は「律法と預言者」に等しいものとして捉えられており、この掟を実践することこそが、私たち人間が追い求めるべき最善の生き方として示されています。一方のルカ福音書では、黄金律は「敵を愛しなさい」という愛敵の教えの文脈に置かれています(ルカ 6:31)、私たちが往々にして他人から求めようとする愛を、たとえ敵対する相手であっても、自分から他人に与えるという究極の愛の業をこの掟は求めており、その意味でも、まさにこれは「黄金の律(掟)」と言えるわけです。

嶺重 淑

YMCA だより



今年YMCA 総立 172 年、日本に YMCA が誕生(東京)して 136 年を迎える年となっています。現在では世界 119 の国と地域で、およそ 5800 万人の会員が、YMCA の活動にかかわっています。日本国内では 188 の拠点で、約 10 万人の会員とともに活動を行っています。その規模から YMCA は世界最大の NGO とも称せられることもあります。国や地域、また日本国内でさえも活動形態、運営方法も様々で、YMCA とは何かをスタッフでさえも十人十色の説明がなされます。ただ間違いなく YMCA は近代社会においてよりよい社会変革の一端を荷ってきた団体であり、これからの少子高齢化社会という大きな変革でもその力を発揮すべきと考えています。

このような背景の中、日本の YMCA は「All Japan YMCA」の強みを生かそうと日本 YMCA 同盟が中心となって「ブランディングタスク」を立ち上げ、YMCA のブランドコンセプトの統一と今後の方向性を指し示す事を 3 年がかりで準備しています。例えば YMCA のロゴも皆さんがよくみる三角マーク以外にもそれぞれの YMCA で様々な形が散見されています。

こうしたロゴやキャッチコピーの統一のみならず社会へのメッセージ性などをひとつの方向性に絞ることによって、全国で様々な活動を荷っている YMCA の特色を強みに変えていこうとしています。2016 年度いっぱいかけて新しい形を作ろうとしている YMCA に皆さんの応援と関心を広げていただきたいと思います。

1. 新三宮会館について

いよいよ 2017 年 3 月に完成となる神戸 YMCA 第 5 期会館ですが、名称も「神戸 YMCA 三宮会館」と決まり、建物も躯体ができ始めています。地上 11 階建てのうち 1~3 階が神戸 YMCA の本部、

チャペル、専門学校、地域活動の場として、4から11階が協働事業者による高齢者の方の入居住宅(介護付有料老人ホーム)「ライフ&シニアハウス神戸北野」となります。

完成が間近になったので神戸 YMCA ホームページ上にもその様子が紹介されています。ご関心のある方は是非ご覧ください。

<http://www.kobeymca.org/> よりバナーをクリックしてください。

そうした関心を広げるため9月26日にセミナーを実施します。発達障がいに関心のある方には是非お伝えください、詳細は神戸 YMCA ホームページへ。

2. 夏のプログラム

今年は台風などの到来もなく、予定されていた特別プログラムも無事に行われています。余島や山・川でのキャンプでは、子どもたち一人ひとりの大きな成長の機会となっています。また今年度も皆さんによる募金などによって東日本大震災被災児童の招待キャンプも行ったり、また地域でもはんしん自立の家でのキャンプなど多くの活動をワイズの支援の下に行うことができました。そうした歩みについて10月例会で神戸 YMCA スタッフにより話をさせていただく機会をいただきましたので是非お聞きください。

3. YMCA セミナー

神戸 YMCA のミッション委員会が中心となって創立130周年を記念するYMCA セミナーが企画されています。詳細は次月以降に案内をしますが、11月26日(土)に予定をしています、ぜひご参加ください。

4. 発達障がい支援セミナー・ボランティア募集

YMCA ではボランティアによって様々な活動を行っていますが、大学生などによるキャンプばかりでなく、社会人やリタイヤされた方によって支えられている活動もたくさんあります。

西宮が中心になって行っている発達障がい児支援プログラムもそのひとつで、学校教員や保育経験者、またまったく関わりのなかった賛同者によって、様々な課題にチャレンジする子どもの活動を支援していただいています。